

# 事務事業評価シート

(H.30)No.	6014	(H.29)No.	6014
-----------	------	-----------	------

事務事業名	広域連携推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
	総合企画政策室	大西 哲	

会計区分	事業コード	023602
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 総務費	広域行政推進事業	
項 総務管理費	(小事業名)	
目 企画費	広域連携推進事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	5	未来につなぐ自立と協働による市政経営
	基本施策	2	自主自立の市政経営
	施 策	1	「新・理想郷プラン」の推進
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
名張市の歴史・文化や自然、産業等の地域資源、地理的特性を生かした様々な地域への情報発信や交流・連携の取組拡大を図りながら知名度アップを目指すとともに、近隣自治体との連携により魅力ある圏域づくりを目指します。
事業内容
・伊賀市をはじめ近隣自治体との連携を強化し、それぞれの地域個性を発揮しながら、互いに補完・協力し合うことで、魅力ある圏域づくりに取り組みます。 ・三重県の西の玄関口としての地理的な特性を生かし、三重県と関西都市圏とを結ぶ拠点機能を担い、戦略的な連携・交流と積極的な情報発信に取り組みます。 ・歴史や文化、産業など幅広い分野における都市間交流と連携を深めます。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
	主な事業の実績・計画	○広域行政の推進 ・県主催の伊賀市との広域行政に関する検討協議(防災、観光) ・移住促進に関する県内市町担当者会議への参加 ・リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会への参加  ○都市間交流 ・東京豊島区との地方創生に関する連携協議		○広域行政の推進 ・県主催の伊賀市との広域行政に関する検討協議(防災、観光) ・リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会  ○都市間交流 ・東大寺サミット ・豊島区との交流事業 自然体験・交流ツアーの実施 ※広域観光連携推進事業予算を活用。		○広域行政の推進 ・伊賀市との広域行政に関する検討協議 ・リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会 ○都市間交流	○広域行政の推進 ・伊賀市との広域行政に関する検討協議 ・リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会 ○都市間交流 ・東大寺サミット

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		54千円		314千円	106千円	300千円	106千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他( )						
	一般財源	0	54	0	314	106	300
人工数		0.41人		0.43人	0.30人	0.40人	0.30人
②概算人件費	0千円	3,034千円	0千円	3,182千円	2,220千円	2,960千円	2,220千円
①+②総事業費	0千円	3,088千円	0千円	3,496千円	2,326千円	3,260千円	2,326千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県と市町の地域づくり連携協働協議会への参加を通じて、県下全域での広域的な移住促進に関しての検討会議を行ったほか、伊賀市とは防災・観光に関する広域的な取組に関して検討・協議を行いました。</li> <li>・東京都豊島区との文化交流都市協定締結15周年を記念し、平成30年度に名張市を会場に豊島区の子どもの自然体験・交流ツアーを実施することについて、協議・調整に取り組みました。</li> </ul>

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度末をもって、伊賀市・名張市広域行政事務組合が解散したことから、今後は県に支援をいただきながら、消防広域をはじめ様々な伊賀市との広域行政課題について、引き続き協議を行っていく必要があります。</li> <li>・観光協会、地域等との連携により東京都豊島区の子どもの自然体験・交流ツアーを実施します。※事業予算は観光費広域観光推進事業の一部を活用</li> </ul>

6. 事務事業の取組に関する市の計画